



健康をイタリアの食から考える イタリア（ローマ、アッチャロリ、パレルモ） 2018.3.9-3.15

小倉綾華（公共健康科学3年）
長田悠希（環境生命科学3年）
河野有紗（公共健康科学3年）

渡航先での活動内容

WFP訪問

WFPの活動や国連機関の職場環境について幅広くお話を伺う

アッチャロリ村への訪問

10人に1人が100歳以上の人々である長寿村を訪問し、健康の秘訣を探る



パレルモの地元レストランへのインタビュー・グルテンフリーレストランのシェフへインタビュー

グルテンフリー商品についてや、島の人々のグルテンフリーへの意識、食生活についてインタビュー調査を行う。

パレルモの薬局へのインタビュー

グルテンフリーに対する政府の政策、グルテンフリーの商品が薬局に置かれている理由について薬局で働く人にインタビュー調査を行う。



目的を達成できたか

アッチャロリ村に行き、村の研究をしている教授や村に住んでいる高齢の方に、気候や生活、ものの考え方などについて直接お話を伺うことで、村の長寿の秘訣について知ることができた。沖縄について尋ねられることが多かったので、事前に沖縄について調べていき、実際にアッチャロリ村と比較できればよかった。WFPでは海外で活躍されている日本人の方にお話を聞き、施設内も案内していただくことで、WFPの活動だけでなく、グローバルで女性が働きやすい職場の雰囲気や、キャリアパスについても伺うことができた。シチリア島では、何人もの方に取材することで、グルテンフリーについてのそれぞれの違った考えや知識、島の人々の食生活について知ることができ、イタリア中部の生活との比較もできた。



将来の進路決定へどう影響したか

今まで全く考えていなかった進路を選択肢に入れることができた。また、海外で暮らしている方と出会い、実際に関わり合うことの楽しさについて学べた。

目的以外に学んだ点、反省点

WFPでは、海外で働く日本人の方3名に、WFPで働くことになった経緯やオスズの政府のプログラムなどをお聞きすることができ、自分の進路についても考えさせられた。



後輩へのアドバイス

インタビューする内容は事前にまとめて印刷し、インタビューの際に手元に持っておくと良いです。また、会話内容は録音しておくと、後でレポートにまとめる時に重宝されます。

グローバルな視点とは何か

日本と世界の現状を理解したうえで、お互いに何を応用できるか、何を真似できるか、逆に何を反面教師にするか考えられる視点

研修支援制度に望むこと

東大の支援があってこそできるような活動（大学の教授との繋がりなど）。海外の活動や食生活、文化に興味がある学生が、実際に自分でアポを取り、行きたい施設や地域に行ける素晴らしい制度だと思うので、是非これからも続けて欲しいと思います。

